

高崎商科大との連携協定事業

1 目的

令和6年8月20日(火)、本校と高崎商科大学の間で連携協力事業に関する協定を結んだ。

本協定では、両校が有する施設や設備、人材等の活用・交流を通して連携協力することによって、本校が推進する文理を融合して新たな価値の創造に挑む「STEAM人材」の育成に資する教育内容の充実を図るとともに、高崎商科大学が行う教育・研究・社会貢献の充実を図り、将来を担う「STEAM人材」、経営人材等の育成促進並びに両組織の向上を図ることを目的としている。

2 概要

(1) 経緯

2学年の課題研究は、社会課題の調査・分析を行った上でアイデアを考え、社会実装を目指して、取り組んでいる。

今までも、生徒自身が調べたり、教員がアドバイスをを行うなどして、社会課題の解決に向けたアイデアを生み出していた。しかし、学校だけでは資源が乏しく、社会課題の実態を知る

機会や調査が不足していると感じていた。

高崎商科大学では、ビジネスの練り方や地域社会との繋がりが長年の研究で蓄積されており、本校の課題研究の質を高めていただけることを期待して協定を結ぶこととなった。

(2) 今年度の主な連携

- ・高崎高校の課題研究等の講座への講師の派遣(5月1日・9月18日)
- ・高崎高校の課題研究における発表内容のブラッシュアップ(高高イノベーションアワードに向けて…夏季休業中)
- ・発表会における審査員の派遣(8月28日)
- ・高崎高校のフィールドワークにおける指導・助言(10月16日)
- ・高崎高校のフィールドワークにおけるコーディネート・案内(12月12日)
- ・地域創造フォーラムでの生徒発表(3月8日)

(3) 今後

今年度は、新たにフィールドワークの指導・助言やコーディネート・案内、地域創造フォーラムでの生徒発表を行った。実施内容を精査して、次年度はより良い活動を行う予定である。

文理融合分野 高崎商科大学

